

3/22

第2回定期委員会開催さる



挨拶に立つ奥川委員長。議長は勝浦支部・鶴岡委員。

日刊 動労千葉

80.3.24
No. 384

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二三五八一九(公衆電話)七二〇七

三里塚「反合」を軸とする 80春闘の取り組み、

財政方針等を満場一致確認

動労千葉は、3月22日、オ二回定期委員会を動力車会館において開催した。
委員会は、一年有余にわたる「本部」反動分子との組織争闘戦に勝利し、いま新たな80年代へ、とりわけ80春闘勝利に向けて、三里塚「反合春闘」として即いぬく確固たる方針確立と不動の財政方針を満場一致確認した。

実践でみかさ上げた

認した。

戦闘性を発揮して

80春闘を即いぬこう

80春闘を中心とする、委員会での確認決定事項

西森副委員長の開会あいさつで始められた委員会は、林執行委員の司会で進められ、議長に鶴岡委員(勝浦支部)を選出し、議事に入った。

「今日までの全員の実践でつちかっ

た。今日までの全員の実践でつちかった教訓を生かし、もちまへの戦闘性をフルに發揮して80春闘を即おう。」との奥川委員長挨拶の後、「経過報告」につづいて、不当処分粉碎「オ二次反合運動保安闘争を中心とする」「79秋年闘争の総括」「80春闘の取り組み」「労働協約・協定の締結」等の提起がなされた。

この後、「財政運営の基本と暫定予算案提起」が行われた。昼食休憩の後、質疑・討論に入った。

討議された内容・意見は

- ① 80春闘の展望と35万人体制粉碎に向けて
- ② 56.3で暫定輸送期限の切れるジェット闘争に即して
- ③ 整備民託化をはじめとする交渉事案
- ④ 参院選闘争
- ⑤ 佐倉・銚子支部結成、新採獲得を軸とした組織拡大・強化について
- ⑥ 国鉄労連労働者との連帯・共闘などが中心に論議され、執行部答弁も含め提起された全体的方針を全員一致で確

① 80春闘——3月17日に提出した新賃金

要求を骨子とする交渉を強化し、全体情勢を見きわめ実力闘争の配置をもつて大巾賃上げ獲得をめざし闘う。

② 反合闘争——内房線の安全確認闘争の

意義にふまえ、具体的合理化事案を「35万人体制」攻撃粉碎と有柱づけて、スト・減産等あらゆる戦術を配置し闘う。

③ 組織体制の強化・拡大——当面する佐倉

銚子支部結成のため、3.24佐倉支部結成大会を勝ちとり、その起点に、さらに全体で支援、オルグ能制を強化する。

④ 参院選闘争——県労連推せん、社会党

候補。全国区「かすや照美」、地方区「赤桐操」の必勝を期して闘う。

⑤ 三里塚二期攻撃粉碎——春闘と結合して、ジ

ェット輸送阻止を堅持し、当面する「3.30三里塚現地集會」に全力動員でとりくむ。

⑥ 定期大会——九月に開催する。

ローカル線切捨て「木原線廃止」に反対する決議を採択!

勝浦、木更津支部の委員より提出された議題の決議案を委員会は満場一致採択した。

3.30 三里塚廃港
全国総決起集會
全支部・全力で結集しよう!
10時 成田集合
成田 運輸区